

令和6年度参考資料 (中央公民館)

<頁>

1	令和6年度家庭教育学級実施状況一覧表	1
2	令和6年度家庭教育学級アンケート集計結果	2
3	令和6年度家庭教育学級講座写真	7
4	令和6年度家庭教育学級「英語体験教室」アンケート集計結果	10
5	令和6年度家庭教育学級「英語体験教室」講座写真	17
6	令和6年度青少年体験学習事業アンケート集計結果	18
7	令和6年度青少年体験学習事業講座写真	24

令和6年度家庭教育学級実施一覧表(令和7年2月28日現在)

	学校名等	実施日	時間	実施場所	学習内容	講師	参加者数	アンケート対象者数	アンケート回収数	アンケート回収率	備考
保育園・こども園・幼稚園	明和保育園	12月7日(土)	9:00~10:45	明和保育園	ストレッチでケガをしない身体づくり	大船渡バレエ教室 中村 愛 氏	72人	35人	17件	48.6%	
	いかわこども園	2月6日(木)	10:00~10:50	いかわこども園	おなかげんききょうじつ	宮城中央ヤクルト販売株式会社大船渡支社 課長 木下 理映 氏	50人	25人	25件	100.0%	
	立根こども園	2月18日(火)	9:30~10:30	立根こども園	親子でイングリッシュ	佐藤英会話 講師					インフルエンザ流行のため中止
	越喜来こども園	11月14日(木)	15:00~15:45	越喜来こども園	おなかげんききょうじつ	宮城中央ヤクルト販売株式会社大船渡支社 課長 木下 理映 氏	50人	20人	17件	85.0%	
第一中学校区	盛小学校	9月3日(火)	14:20~15:20	盛小学校	ストレッチでケガをしない身体づくり	大船渡バレエ教室 中村 愛 氏	31人	20人	19件	95.0%	
	日頃市小学校	11月22日(金)	15:00~15:45	日頃市小学校	母校日頃市小150周年に想う	座・ひころいち世話人 佐藤 善士 氏	93人	36人	34件	94.4%	
	第一中学校	12月4日(水)	13:35~14:25	第一中学校	食育講話	北部学校給食センター 菅原 亜希子 氏	419人	30人	30件	100.0%	
末崎中学校区	☆末崎小学校	10月1日(火)	18:30~20:00	末崎中学校	ゲーム・メディアの身体に与える影響	沿岸南部教育事務所 エリア型スクールカウンセラー 千葉 崇弘 氏	28人	27人	22件	81.5%	
	末崎中学校										
☆=合同開催事務局							743人	193人	164件	85.0%	

令和6年度家庭教育学級アンケート集計結果（令和7年2月28日現在）

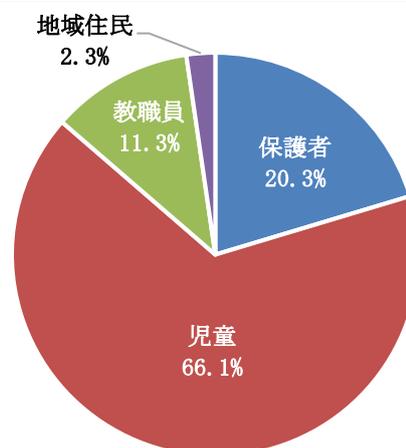
○実施箇所 保育園等、小学校、中学校区 7カ所（実施状況一覧のとおり）

○参加人数 743人（うち保護者151人）

○アンケート回収数 164件（対象者193人中）回収率85.0% ※生徒等一部アンケート対象外。

成果指標	目標	実績	達成率
学習内容の満足度	80.0%	96.9%	121.1%
1カ所あたりの前年度比参加人数 R5：49.2人 (443人/9カ所)	前年度比同数以上	106.1人 (743人/7カ所)	215.7%
学習内容の家庭の取組意欲	80.0%	89.0%	111.2%
学習内容の理解度	80.0%	93.9%	117.4%

参加者内訳	年代	人数	比率
	保護者	151	20.3%
	園児・児童・生徒	491	66.1%
	教職員	84	11.3%
	地域関係者	17	2.3%
計	743	100.0%	



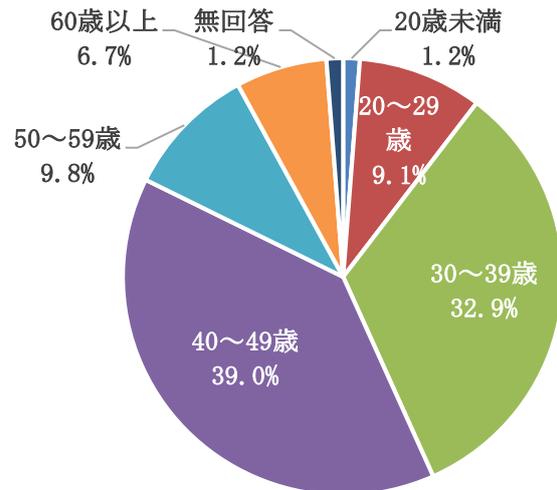
※ 端数処理により比率の計が100%にならない場合があります。

【総括】

- ・こども園、保育園、幼稚園、小・中学校の児童生徒、保護者、教職員、地域の関係者等を対象に、家庭や地域の教育的役割や子どもとの関わり合い方、子育ての問題等に関する学習機会を提供した。
- ・一部園ではインフルエンザの蔓延に伴い、実施を見合わせたが、アンケート結果の満足度等の高さから見て、いずれの小中学校やこども園等においても希望に沿ったテーマにより実施することができたと捉えている。
- ・一例を挙げると、末崎中学校区で実施した「ゲーム・メディアの身体に与える影響」では、少子化や核家族化の進行・デジタル化の進展により子育てを取り巻く環境が年々変化し、デジタル機器利用の低年齢化が一層進んでいることを学習することができた。
- ・今後とも関係機関等と連携しながら時流に合わせた学級を開催し、家庭教育支援を行ってまいりたい。

Q 1. 参加者の年齢

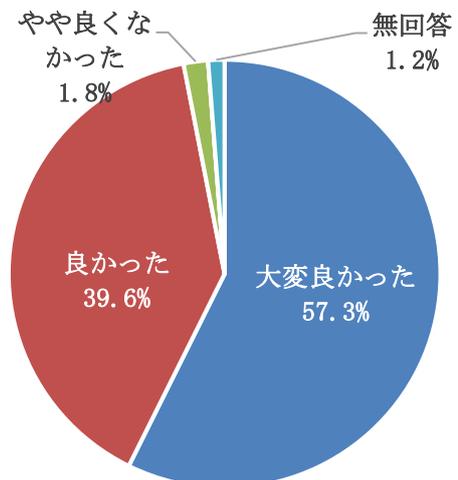
年代	人数	比率
20歳未満	2	1.2%
20～29歳	15	9.1%
30～39歳	54	32.9%
40～49歳	64	39.0%
50～59歳	16	9.8%
60歳以上	11	6.7%
無回答	2	1.2%
計	164	100.0%



30・40代（親世代）の参加が多かった。

Q 2. 学級に参加した感想（満足度）

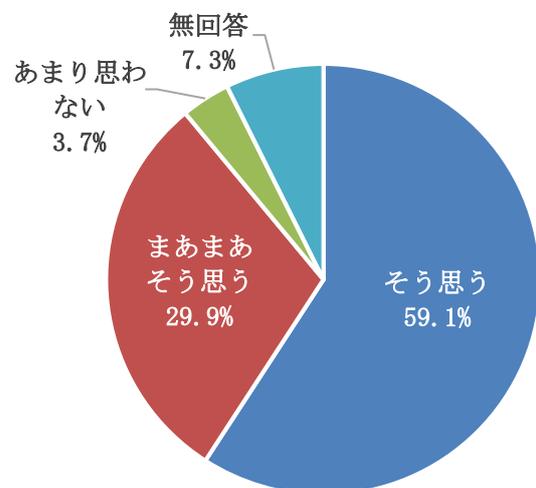
評価	人数	比率
大変良かった	94	57.3%
良かった	65	39.6%
やや良くなかった	3	1.8%
良くなかった	0	0.0%
無回答	2	1.2%
計	164	100.0%



大多数の人が「大変良かった」「良かった」と回答している。

Q 3. 学習内容への取組意欲

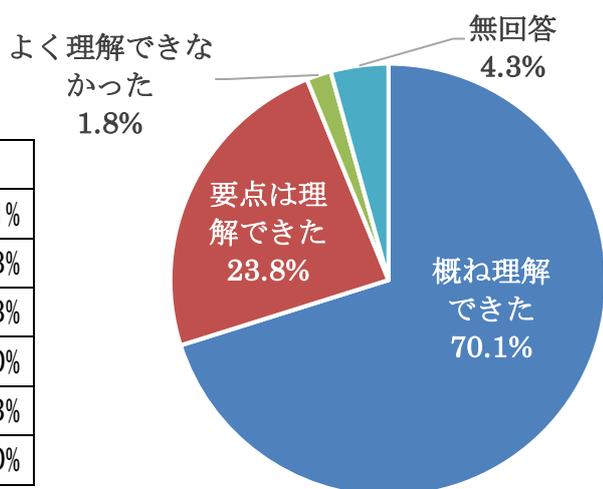
取組意欲	人数	比率
そう思う	97	59.1%
まあまあそう思う	49	29.9%
あまり思わない	6	3.7%
思わない	0	0.0%
無回答	12	7.3%
計	164	100.0%



今回の学習内容について、89%の人が家庭で取り組む意欲があると回答している。

Q 4. 内容の理解度

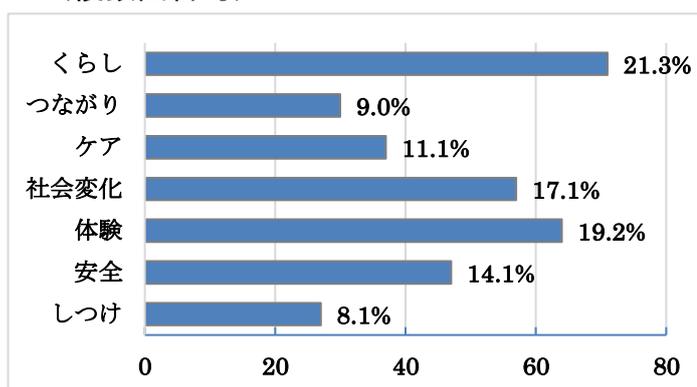
理解度	人数	比率
概ね理解できた	115	70.1%
要点は理解できた	39	23.8%
よく理解できなかった	3	1.8%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	7	4.3%
計	164	100.0%



93.9%の人が学習内容を理解できたと回答している。

Q 5. 家庭教育学級で希望するテーマ (複数回答可)

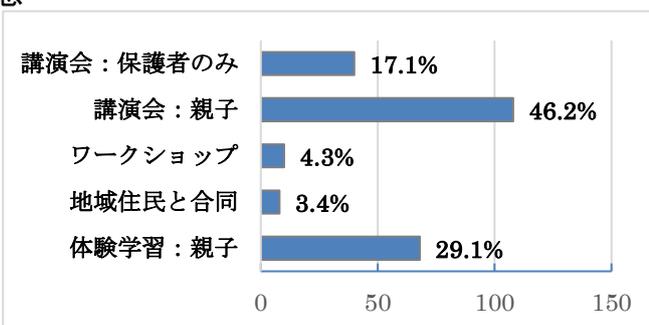
希望テーマ	人数	比率
暮らし	71	21.3%
つながり	30	9.0%
ケア	37	11.1%
社会変化	57	17.1%
体験	64	19.2%
安全	47	14.1%
しつけ	27	8.1%



生活習慣や健康管理等の暮らし、スマホやSNS等の社会変化、スポーツや文化等の体験をテーマにした内容を希望する声が多い。

Q 6. 家庭教育学級で希望する学習形態

学習形態	人数	比率
講演会：保護者のみ	40	17.1%
講演会：親子	108	46.2%
ワークショップ	10	4.3%
地域住民と合同	8	3.4%
体験学習：親子	68	29.1%



保護者のみの講演会や親子での講演会・体験学習を希望する回答が多い。

Q 7. 自由記載(抜粋)

(1) ストレッチでケガをしない身体づくり (9/3 盛小)

- ・参加できなかった方が残念でした。無理なくいい体験だったと思います。親子で触れ合う体操も良かったです。(子どもたちが、喜んでいる姿を見ました。)
- ・私自身も子どももPCやスマホにより首を中心に姿勢が悪いので何かほかにストレッチがあるなら知りたいと思った。産後から数年たっているが、腰や骨盤の調子も悪いので、もっと自分の身体をリラックスできるような運動に取り組みたいと思った。
- ・久しぶりにじっくり体を動かし、リラックスすることができました。前と後では体の柔らかさが違ってびっくりしました。家でも子どもとやってみようと思います。今日はありがとうございました。

(2) ゲーム・メディアの身体に与える影響 (10/1 末中学区)

- ・沢山の保護者に聞いてほしかったなと思いました。
- ・依存症の定義を聞いて良かった。普段関わっている依存症は、数値やぱっと見では判断できなく難しい。わかりやすい定義ですと頭に入れられた。
- ・依存になる一番の原因はその子の心に何か問題が生じたという事を知れて、一概にゲームが悪いという事ではないと理解しました。
- ・上手くつきあっていければいいなと思う。大きな声でダメと言う前に、「なにをしたの？」の気持ちを大切にしたい。

(3) おなかげんききょうしつ (11/14 越喜来こども園)

- ・楽しく参加できた
- ・子どもに分かりやすく、映像やダンスもあり良かったです。家庭でも会話の話題にしたいと思います
- ・子どももわかり易く、とても良かったです

(4) 母校日頃市小学校 150 周年に想う (11/22 日小)

- ・日頃市小学校の歴史がわかって良かった。素敵な学校だと改めて思いました。
- ・地域の人が講師となって講演いただいて良かったと思います。
- ・今回のテーマは少し子供達にはむずかしい内容だったと思います。これからは、もう少し時間を短縮できると良いなと思いました。
- ・本日参加でき、本当に良かったです。日小、ありがとう。

(5) 食育講話 (12/4 一中)

- ・お弁当は毎日のことなので、勉強になりました。子どもの様子を見ることができ良かったです。スライドもよくできていました。食べる物も大事ですが、食べる時間も大事だと思います。早食いにならないよう、よく噛んで食べてほしいです。
- ・子どもたちが集中して静かに聞いていたので良かったです。家に帰ったら、子どもと一緒に今日勉強したことを話して、お手伝いしてもらいたいです。
- ・予算と栄養バランスを考えて作ってくださる給食には感謝しております。理解しているつもりでもバランス良く食べるのはかなり難しい。野菜嫌いの改善がテーマなのかと考えます。大変勉強になりました。40、50代になり、家族の病歴・体質と食事についても悩ましいです。生徒たちの質問がすばらしい内容でした！ありがとうございました。

(6) ストレッチでケガをしない身体づくり (12/7 明和保育園)

- ・子どもが体を動かす遊びが好きなので、楽しく体を動かすことで発達につながり、とても良い勉強になりました。
- ・あれから子どもが「ストレッチ！」と言って足首ブラブラさせたりしていて、自然と生活に生きているなど感じました。
- ・当日どの子ども達も生き生き楽しんでいて、見ているだけでこちらも楽しかったです。
- ・子どもとストレッチをして楽しかった。今後もこのような学習を増やしてほしい。

(7) おなかげんききょうしつ (2/9 いかわこども園)

- ・貴重なお話ありがとうございました。体操があり、とてもよかったです。
- ・お腹のお話は3歳児さんには、少し難しいかなと思いました。
- ・勉強になりました。
- ・元気に食べて、うんちをしようと思いました。
- ・時間も丁度良かったです。ダンスもあり、飽きずに聞けました。

令和6年度 家庭教育学級講座写真

1 盛小学校



2 末崎中学校区 (末崎小学校、末崎中学校)



3 越喜来こども園



4 日頃市小学校



5 第一中学校



6 明和保育園



7 いかわこども園



令和6年度家庭教育学級（英語スクール）「英語体験教室」事業一覧表（令和7年2月28日現在）

	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	6月22日(土) ①未就学児 9:30~10:30 ②小学校1~2年生 11:00~正午	英語に触れる活動(英会話・ゲーム・歌・おえかきなど)	佐藤英会話 佐藤 利恵 氏 エミリー・チャドウィック氏	20組40人 (①10組20人、 ②10組20人)	18組37人 (①10組20人、 ②8組17人)	カメラリアホール 多目的ホール
2	11月23日(土) ①未就学児(年中) 9:30~10:30 ②未就学児(年長) 11:00~正午	英語に触れる活動(英会話・ゲーム・歌・おえかきなど)	佐藤英会話 佐藤 友紀 氏 エミリー・チャドウィック氏	20組40人 (①10組20人、 ②10組20人)	16組32人 (①7組14人、 ②9組18人)	カメラリアホール 多目的ホール

令和6年度家庭教育学級（英語スクール）「英語体験教室」アンケート集計結果（令和7年2月28日現在）

成果指標(全2回中2回の値)	目標	実績	達成率	
定員に対する参加率	80.0%	86.3%	107.8%	○事業参加者数 69人 第1回 37人 第2回 32人 ○アンケート回収数 68通 第1回 37人(100%) 第2回 31人(96.8%) (回収率 98.4%)
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	92.8%	116.0%	
参加者のうち「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイデアを考えたり、工夫したりできた」と回答した参加者の割合	50.0%	61.8%	123.6%	

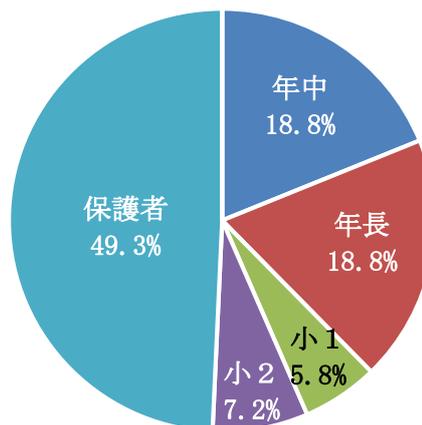
【総括】

- ・昨年度から委託先の講師が変更になったため、リピーターに対しても新鮮な講座を提供することができた。
- ・今年度は、未就学児の申込者数が定員の倍以上（定員10組、申込23組）となり、一方で、小学1、2年生の申込みは定員割れ（定員10組、申込8組）となった。このことから、「第2回英語体験教室」の対象を未就学児のみとし、ニーズのある年代に対象者を絞ったため、落選者を出すことなく、申込者全員に講座を受講する機会を提供することができた。
- ・学習内容については、英会話、ゲーム、歌、ダンス、おえかきなど、「動的活動」と「静的活動」を組み合わせ、さまざまなアプローチにより英語に慣れ親しむプログラムだったため、子どもたちは、飽きることなく60分の活動に集中して取り組んでいた。
- ・全2回のアンケート結果による子ども、保護者の感想は、「とてもよかった」「よかった」と回答した人が100%となり、親子共に満足いただけた講座となった。また、「自分から進んで取り組むことができたか」の問いに対し、「できた」「まあまあできた」と回答した人は92.8%となり、昨年度の88.7%を上回る結果となった。

Q 1. 参加者の学年

単位：人

項目	第1回	第2回	合計	比率
年中	6	7	13	18.8%
年長	4	9	13	18.8%
小1	4	—	4	5.8%
小2	5	—	5	7.2%
保護者	19	15	34	49.3%
無回答	0	0	0	0.0%
計	38	31	69	100.0%



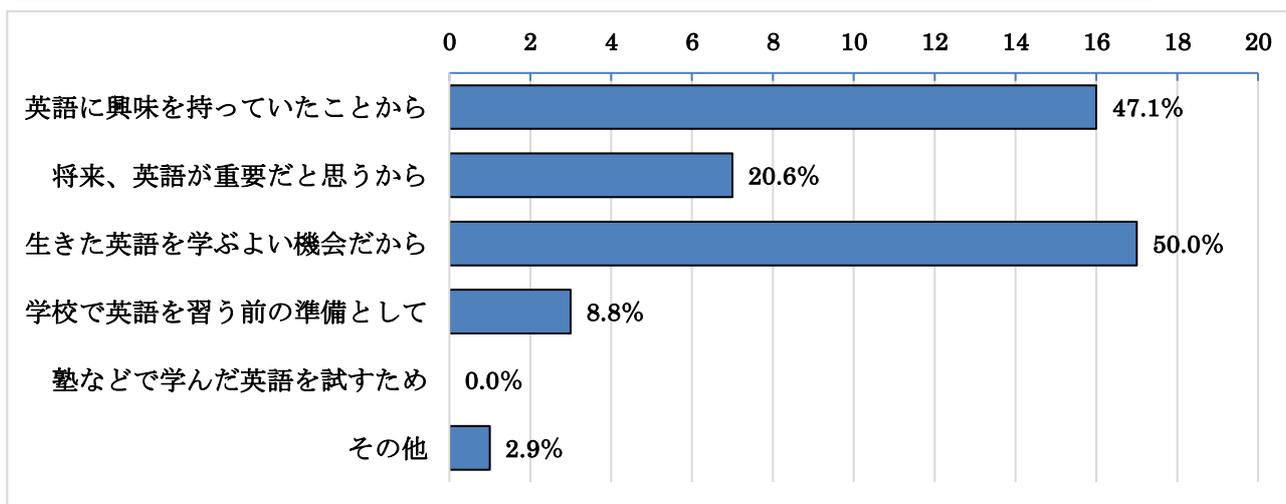
未就学児の応募が多かったことから第2回は対象を未就学児のみに変更した。このため子ども参加者は年中・年長児の割合が高くなった。

※端数処理により合計で100%とならない場合があります。

Q 2. 参加理由（保護者回答・複数回答可）回答者数 34 人

単位：人

項目	第1回	第2回	合計	比率
英語に興味を持っていたことから	9	7	16	47.1%
将来、英語が重要だと思うから	5	2	7	20.6%
生きた英語を学ぶよい機会だから	8	9	17	50.0%
学校で英語を習う前の準備として	1	2	3	8.8%
塾などで学んだ英語を試すため	0	0	0	0.0%
その他	0	1	1	2.9%
計	23	21	44	—

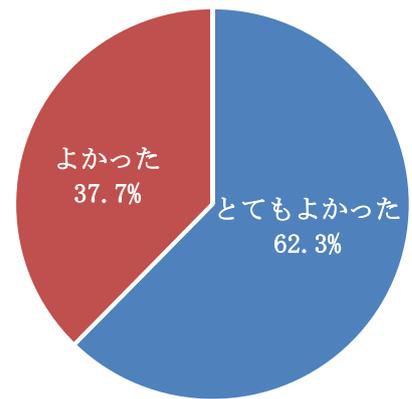


第1回では「英語に興味を持っているから」が最多回答であったが、全2回を通しては「生きた英語を学ぶよい機会だから」が最多回答となった。

Q 3. 講座の感想(親子回答)

単位：人

項目	第1回	第2回	合計	比率
とてもよかった	20	23	43	62.3%
よかった	18	8	26	37.7%
あまりよくなかった	0	0	0	0.0%
よくなかった	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0.0%
計	38	31	69	100.0%

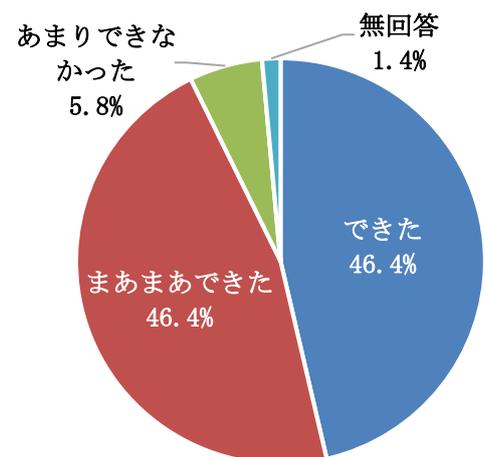


全ての参加者から「とてもよかった」又は「よかった」と回答いただき、満足度の高さが窺える結果となった。

Q 4. 学習意欲(親子回答)

単位：人

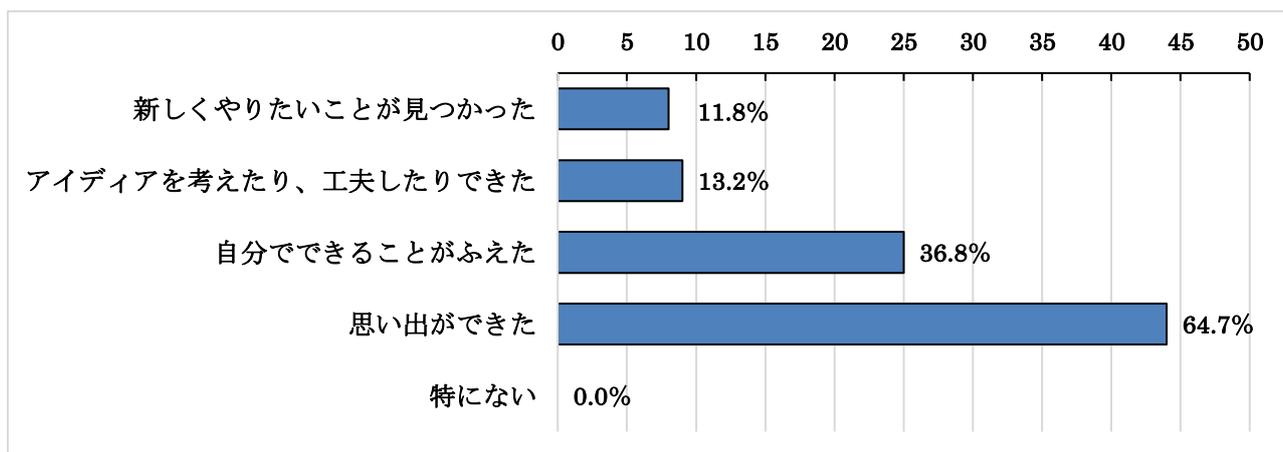
項目	第1回	第2回	合計	比率
意欲的に取り組むことができた	11	21	32	46.4%
意欲的に取り組むことがまあまあできた	23	9	32	46.4%
意欲的に取り組むことがあまりできなかった	4	0	4	5.8%
意欲的に取り組むことができなかった	0	0	0	0.0%
無回答	0	1	1	1.4%
計	38	31	69	100.0%



「意欲的に取り組むことができた」、「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した人の割合が全2回で92.8%となり、目標値の80%を上回った。

Q 5. 講座に参加したことによる変化（親子回答・複数回答可） 回答者数 68 人 単位：人

項目	第 1 回	第 2 回	合計	比率
新しくやりたいことが見つかった	3	5	8	11.8%
アイデアを考えたり、工夫したりできた	3	6	9	13.2%
自分でできることがふえた	14	11	25	36.8%
思い出ができた	19	25	44	64.7%
特にない	0	0	0	0.0%
計	39	47	86	—

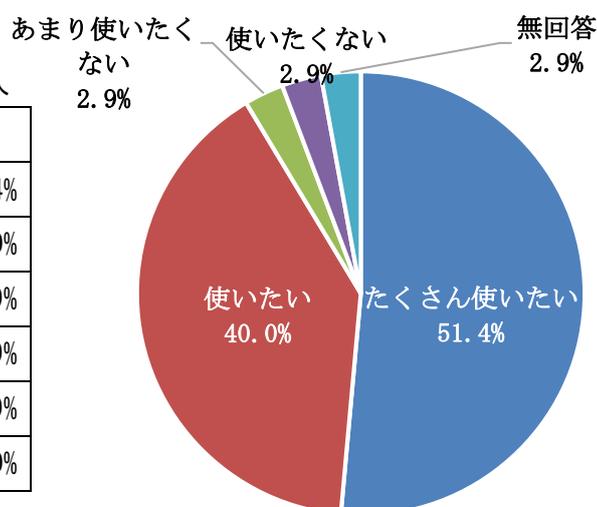


第 1 回・2 回共に「思い出ができた」が半数程度を占め、次いで「自分でできることがふえた」となった。「新しくやりたいことが見つかった」「アイデアを考えたり、工夫したりできた」については、次代を生き抜くための創造力や自主性の育成に必要な要素となっていることから、今後はこの項目を選択する親子の割合が増えることが望ましいと考える。

Q 6. 英語の使用（子ども回答）

単位：人

項目	第 1 回	第 2 回	合計	比率
たくさん使いたい	9	9	18	51.4%
使いたい	8	6	14	40.0%
あまり使いたくない	0	1	1	2.9%
使いたくない	1	0	1	2.9%
無回答	1	0	1	2.9%
計	19	16	35	100.0%

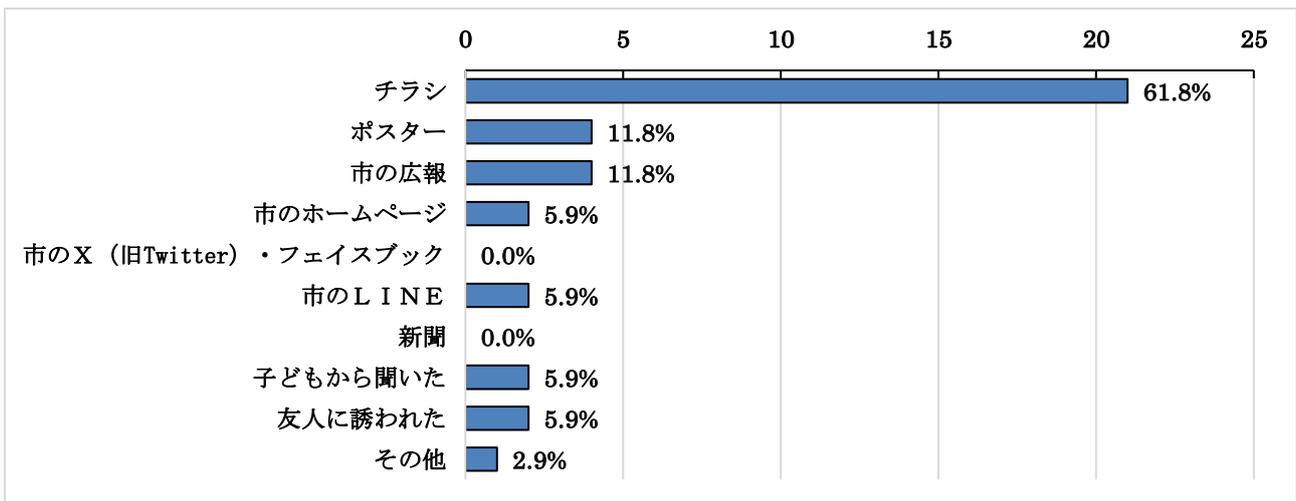


第 1 回・2 回合わせて「たくさん使いたい」「使いたい」と回答した子どもの割合が 9 割を超えた。英語に対する興味の高さが窺える。

Q 7. 講座を何で知ったか(保護者回答・複数回答可)回答者数 34 人

単位：人

項目	第 1 回	第 2 回	合計	比率
チラシ	11	10	21	61.8%
ポスター	1	3	4	11.8%
市の広報	2	2	4	11.8%
市のホームページ	1	1	2	5.9%
市のX (旧Twitter) ・フェイスブック	0	0	0	0.0%
市のLINE	0	2	2	5.9%
新聞	0	0	0	0.0%
子どもから聞いた	0	2	2	5.9%
友人に誘われた	2	0	2	5.9%
その他	1	0	1	2.9%
計	18	20	38	—



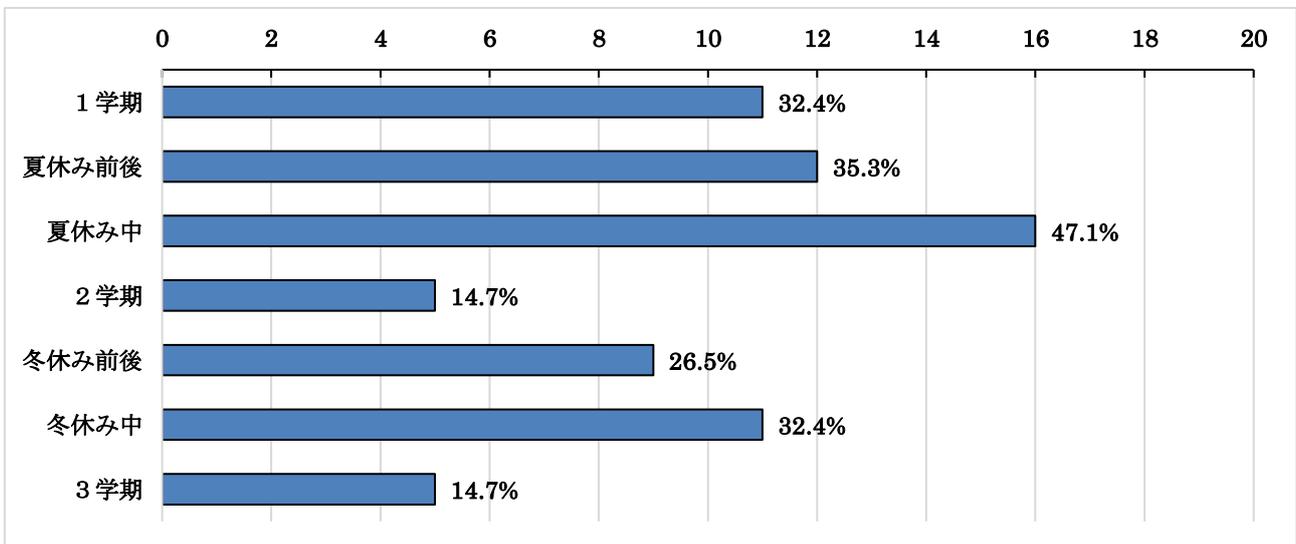
※その他回答は1件：「市職員の家族から聞いた」

全2回とも市内の小中学校を通じたチラシ配布の効果が高かった。
各種SNSの占める割合はまだ高くないが、今後も積極的に発信していきたい。

Q 8. 講座に参加しやすい時期（保護者回答・複数回答可） 回答者数 34 人

単位:人

項目	第 1 回	第 2 回	合計	比率
1 学期	6	5	11	32.4%
夏休み前後	5	7	12	35.3%
夏休み中	8	8	16	47.1%
2 学期	1	4	5	14.7%
冬休み前後	1	8	9	26.5%
冬休み中	4	7	11	32.4%
3 学期	1	4	5	14.7%
計	26	43	69	—



親子で参加しやすいと思われる「夏休み中」の割合が最も高かったが、夏季・冬季休暇前後も比較的割合が高くなっている。

Q 9. 自由記載欄 抜粋

(1) 子ども

【第 1 回参加者】

- ・とても楽しかったです。エミリー先生と利恵先生に会えて良かったです。（小 2）
- ・楽しかった。（小 1）
- ・これからも英語を使いたいので、とても良かった。（年長）
- ・覚えられて良かった。（小 2）
- ・前から興味があったので、体験できて良かった。（年中）
- ・英語を知れて、アメリカやカナダなどに行ってみたいです。（小 2）
- ・前回、Head, Shoulders, Knees and Toes の歌をやったので、また歌いたいです。（年長）
- ・家でもいっぱい英語を使いたい。（小 2）
- ・英語でゲームしたいです。（小 1）

- ・（ほかにやりたいこととして）ゲーム。（小1）

【第2回参加者】

- ・楽しかった。Thank you.（年中）
- ・参加してみて楽しかった。（年中）
- ・いろいろなお友だちと触れ合えて楽しかったです。（年中）
- ・いつも英語を使って過ごしたいと思った。塗り絵楽しかった。（年長）
- ・楽しかった。（年長）
- ・ちょっと緊張したが、楽しかった。（年長）
- ・次も絶対参加したいです！（年長）
- ・また参加したい（年長）

(2) 保護者

【第1回参加者】

- ・最初もじもじして話せなかったが、慣れてきて楽しそうにして良かった。（年中保護者）
- ・頑張っている姿が見れました。（年中保護者）
- ・英語に興味が出てきたので、このようなイベントがあればまた参加したいです。（年長保護者）
- ・家の中でも英語を一緒に使ってみたい。（小2保護者）
- ・どんどん参加できるゲームがあったらやってみたい。（小1保護者）
- ・英語を子どもと学ぼうと思いました。（小2保護者）
- ・継続して参加できると嬉しいです。（小2保護者）
- ・講師2人の進行がスムーズでなかった。お絵描きする時間ももったいなかった。講師と英語でしゃべる時間をもう少し設けてほしかった。（年長保護者）

【第2回参加者】

- ・どのシーンもとても楽しそうでした！全てが良かったです。（年中）
- ・英語をしゃべるとき楽しそうでした。（年中）
- ・体を動かしながら英語の歌を歌っていたとき。（年中）
- ・体を動かして音を楽しむのが良かった。（年中）。
- ・色をタッチしたり、歌を歌ったりしているとき。（年長）
- ・色を探すゲームと最後に皆で踊るゲーム。体を動かすのが楽しそうでした。（年長）
- ・塗り絵や歌で楽しそうにしていました。（年長）
- ・塗り絵でサンタクロースの目をよく描けた。（年長）
- ・子どもだけの歌や物を見つける学習。（年長）
- ・どの活動にも楽しく参加していました。（年長）

令和6年度家庭教育学級（英語スクール）「英語体験教室」講座写真

【第1回】



【第2回】



令和6年度青少年体験学習事業一覧表（令和7年2月28日現在）

	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	7月6日（土） ①10：00～ ②13：00～	ステンドグラス 制作体験教室	アトリエガラス 鈴木 摩耶子 氏	5組 20人 ①午前：5組 10人 ②午後：5組 10人	9組 19人 ①午前：4組 9人 ②午後：5組 10人	三陸公民館
2	9月1日（日） 10：00～	おやこ科学 教室	明治大学工学部 本多 貴之 准教授	20組 40人	12組 30人	カメラア ホール

令和6年度青少年体験学習事業アンケート集計結果（令和7年2月28日現在）

成果指標(全2回の合計値)	目標	実績	達成率	○事業参加者数 49人 ステンドグラス 19人（子ども10人、保護者9人） 科学教室 30人（子ども18人、保護者12人） ○アンケート回収数 55通 （回収率100%） ※兄弟姉妹がいる保護者は子ども毎回答（18件）
定員に対する参加率	80.0%	85.0%	106.3%	
参加者のうち「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイデアを考えたり、工夫」と回答した参加者の割合	50.0%	110.9%	221.8%	
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	100.0%	125.0%	

【総括】

・本事業の趣旨に従い、学校や家庭では体験する機会のないテーマを選んだが、そのことについて「良かった」という参加者の声が多くあり、目的を達成することができたものと考えられる。

また、いずれの事業も講師のきめ細やかな指導により、ステンドグラス制作教室では全員が作品を完成させ、また、おやこ科学教室においては実験を行うことができ、参加者全員に満足いただける講座となった。

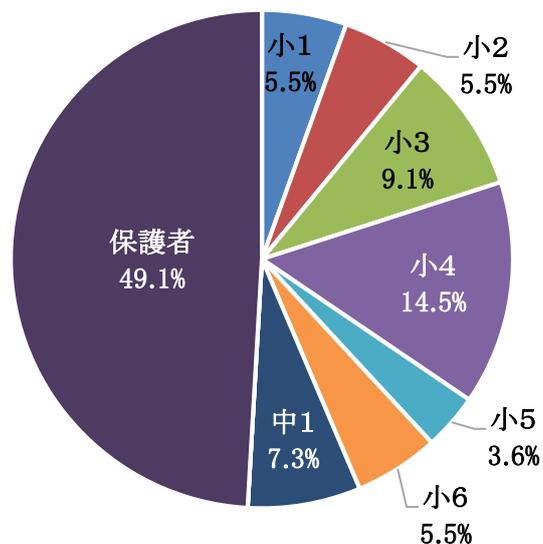
・アンケート結果による参加者の感想は、「とてもよかった」「よかった」と回答した人が100%となり、全員に満足いただけた講座となった。また、子どもへの「自分から進んで取り組むことができたか」、保護者への「子どもが意欲的に取り組むことができたか」の問いに対しても「できた」「まあまあできた」と回答した人は100%となり、学校や家庭では体験できない分野の体験機会を十分に提供できたものと窺える。

・学習前後の変化として、「新しくやりたいことがみつかった」「アイデアを考えたり工夫したりできた」「自分でできることが増えた」の回答を選択（複数回答）した子どもの割合は両事業とも非常に高く、また、おやこ科学教室のアンケートでは、科学への興味を持ったとの回答が多くあり、事業目的に沿った講座を実施することができたと言える。

Q 1. 参加者の学年

単位：人

項目	स्टンドグラス	科学教室	比率
小1	0	3	5.5%
小2	0	3	5.5%
小3	0	5	9.1%
小4	6	2	14.5%
小5	1	1	3.6%
小6	2	1	5.5%
中1	1	3	7.3%
中2	0	0	0.0%
中3	0	0	0.0%
保護者	9	18	49.1%
無回答	0	0	0.0%
計	19	36	100.0%



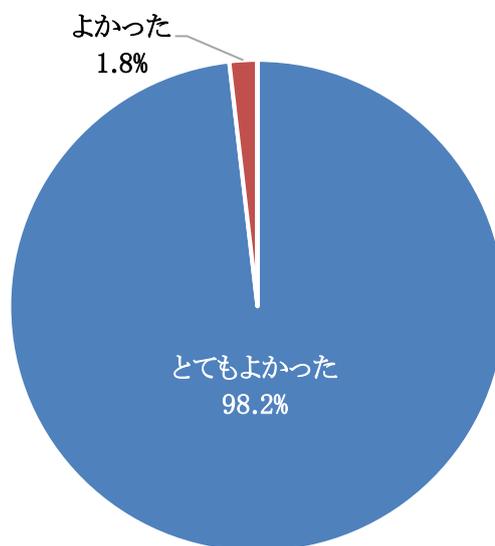
小中学生及び保護者を対象に参加者の募集を行ったが、参加者の多くは小学生中・高学年となった。中学生は昨年度から1人増えて4人の参加となった。最終学年(中3)の参加は難しいと思われるが、中学生の学習ニーズと合致した体験学習も今後提供できるように努めたい。

※おやこ科学教室の保護者の参加実人数は12人だが、子どもの参加人数18人に合わせアンケート回答を行っている。

Q 2. 講座の感想 (親子回答)

単位：人

項目	स्टンドグラス	科学教室	比率
とてもよかった	18	36	98.2%
よかった	1	0	1.8%
あまりよくなかった	0	0	0.0%
よくなかった	0	0	0.0%
無回答	0	0	0.0%
計	19	36	100.0%

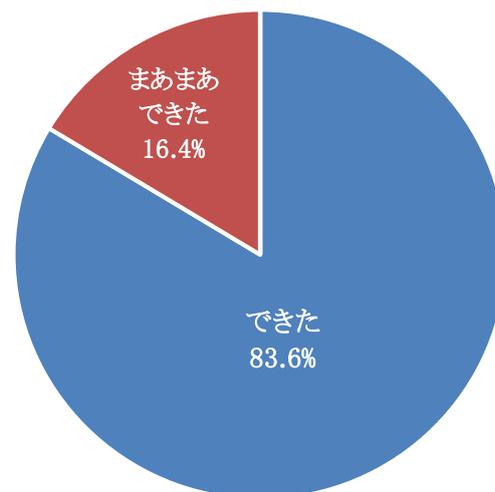


参加者(親子)の10割近くが「とてもよかった」と回答しており、満足度が高い結果となった。来年度以降も同様の成果が出せるよう学習内容を検討したい。

Q 3. 学習意欲(親子回答)

単位：人

項目	स्टンドグラス	科学教室	比率
意欲的に取り組むことができた	16	30	83.6%
意欲的に取り組むことがまあまあできた	3	6	16.4%
意欲的に取り組むことがあまりできなかった	0	0	0.0%
意欲的に取り組むことができなかった	0	0	0.0%
無回答	0	0	0.0%
計	19	36	100.0%

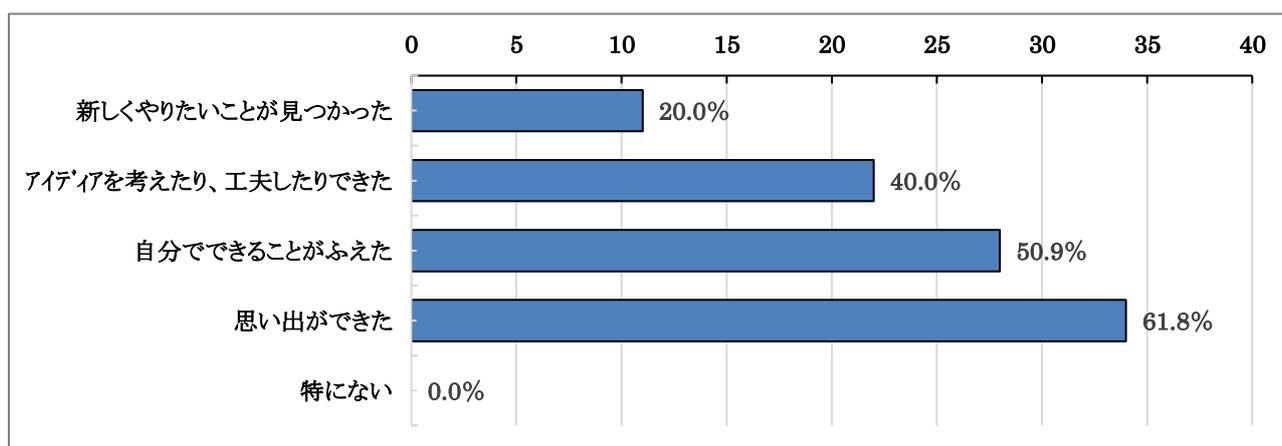


「意欲的に取り組むことができた」「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合が100%となり、目標値である80%を上回ることができた。

Q 4. 講座に参加したことによる変化(親子回答・複数回答可)

単位：人

項目	स्टンドグラス	科学教室	比率
新しくやりたいことが見つかった	4	7	20.0%
アイデアを考えたり、工夫したりできた	10	12	40.0%
自分でできることがふえた	13	15	50.9%
思い出ができた	15	19	61.8%
特にない	0	0	0.0%
計	42	53	—

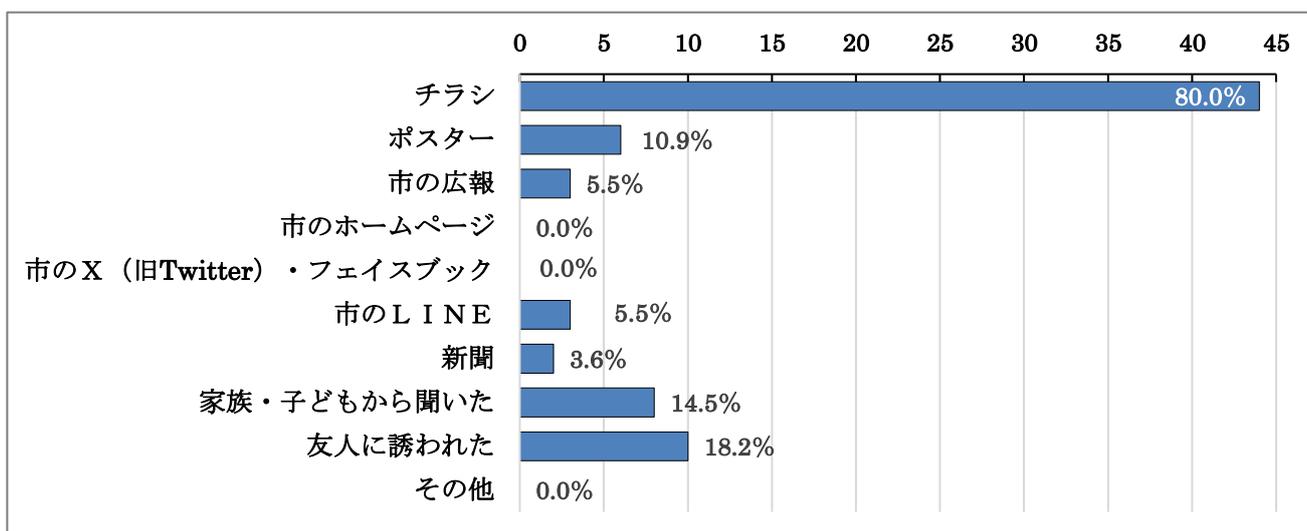


最も選択回答の数が多かった項目は「思い出ができた」であったが、「アイデアを考えたり、工夫したりできた」「自分でできることがふえた」の選択した割合も高くなった。いずれの項目も次世代を生き抜くための創造力や自主性の育成に必要な要素となるが、それらの項目を一定数の参加者が選択したことは、本事業の成果が表れたものと考えられる。

Q5. 講座を知った媒体(保護者回答・複数回答可)

単位：件

項目	स्टンドグラス	科学教室	比率
チラシ	18	26	80.0%
ポスター	2	4	10.9%
市の広報	1	2	5.5%
市のホームページ	0	0	0.0%
市のX(旧Twitter)・フェイスブック	0	0	0.0%
市のLINE	2	1	5.5%
新聞	0	2	3.6%
家族・子どもから聞いた	1	7	14.5%
友人に誘われた	1	9	18.2%
その他	0	0	0.0%
計	25	51	—



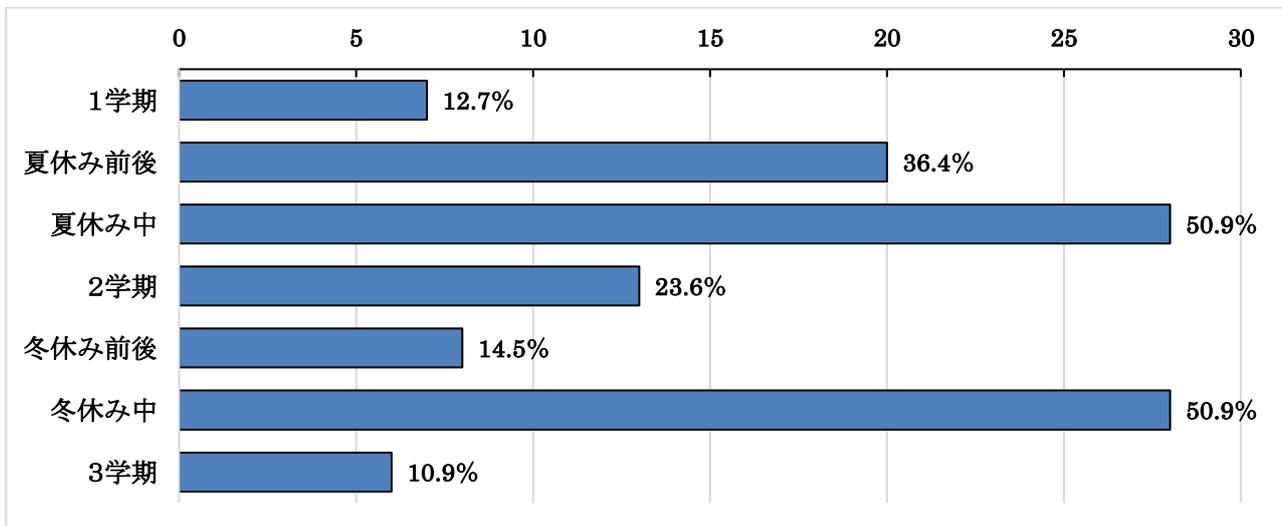
市内の小中学校を通じて、対象児童生徒全員にチラシを配布したことから、多くの参加者が「チラシ」を見ての応募となった。

各種SNSの割合はまだ高くないが今後も積極的に発信していきたい。

Q 6. 講座に参加しやすい時期（保護者回答・複数回答可）

単位：件

項目	STEMクラス	科学教室	比率
1学期	4	3	12.7%
夏休み前後	9	11	36.4%
夏休み中	10	18	50.9%
2学期	4	9	23.6%
冬休み前後	1	7	14.5%
冬休み中	6	22	50.9%
3学期	0	6	10.9%
計	34	76	—



半数以上が「夏休み中」や「冬休み中」の長期休み中を希望している。実施時期や学習内容などの調査結果を踏まえて、計画の立案に努めたい。

Q 7. 自由記載欄 抜粋 (保護者からの回答も含む)

【ステンドグラス制作体験教室】

(1) 子ども

- ・難しかったけど、うまくできて良かったです。(小6)
- ・スマホにつけるストラップみたいなを作りたい。(中1)
- ・普段できないことをしたりして、ステンドグラスを作ることができたし、楽しかったので良かったです。(中2)

(2) 保護者

- ・自身がステンドグラスが好きなので、工程を知れて嬉しかった。本人も意欲的に取り組み楽しんでいて、親子の良い時間となった。(小4保護者)
- ・日頃、体験できないことをできて良かったです。親子のコミュニケーションにもなるし、いつもゲームばかりになっているお休みの日に、このようなすばらしい時間の使い方ができて嬉しいです。(小5保護者)
- ・パパッと決める妹と違い、先生の話聞きつつ、慎重にやっているようでした。ていねいに教えていただき、不器用ながらも上手に出来上がりました。楽しい時間をありがとうございました。(中2保護者)

【おやこ科学教室】

(1) 子ども

- ・楽しかった。ろうそくを作るのが楽しくて面白かった。(小1)
- ・漆のろうを使ってろうそくを作ったり、青、赤、緑を混ぜたら白くなったり、こんな楽しい実験をやって良かったです。(小3)
- ・光がどうできているのかを知ることができて良かった。(小3)
- ・王水を作って金を溶かしたい。硫酸を熱してみたい。(中1)

(2) 保護者

- ・身近なもので実験できたので、良かったと思います。(小2保護者)
- ・日頃、できない実験を通して、科学への好奇心を深められた1日でした。講師の方やスタッフさん、ありがとうございました！(小2保護者)
- ・岩手が漆で有名なことを知らなかった。科学のイベントに参加できて、子どもがいろいろ興味を持ってくれたらいいなあと思います。電気がうまくつけられなくて悔しかった。またこういうイベントをぜひしてほしいです。(小3保護者)
- ・光について学ぶことができて楽しかったです。こんなに自分で作業ができるようになったのか…と、子どもについての発見もありました。(小1保護者)
- ・複数の実験を通して、たくさんの学びがあった。低学年でこのような科学の世界に触れることができありがたい。また科学に触れる講座に参加してみたいです。(小3保護者)

令和6年度青少年体験学習事業「ステンドグラス制作体験教室」講座写真



令和6年度青少年体験学習事業「おやこ科学教室」講座写真

